

2022年7月1日

各位

株式会社 福邦銀行

福井県高浜町との企業版ふるさと納税の取り組みについて

株式会社福邦銀行（頭取 渡邊 健雄）は、福井県高浜町（町長 野瀬 豊）との「地方創生に関する包括的地域連携協定」に基づき、「高浜町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の実施・実現に向けて、福井県高浜町へ企業版ふるさと納税の寄附見込企業の紹介を行うことになりましたので、お知らせいたします。

福井県高浜町は「高浜町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」のなかで、特に3つの重点プロジェクトを定めています。1つ目は、多様な関わりでつなぐ移住・帰住促進プロジェクト、2つ目は、親子をくるむしあわせ子育て応援プロジェクト、3つ目は、まちがかがやく人と仕事の好循環プロジェクトです。福邦銀行は、これら3つの重点プロジェクトの実施・実現に向けて、全国の企業から企業版ふるさと納税の寄附見込企業を高浜町へ紹介していきます。

「福井県高浜町企業版ふるさと納税サイト」

<http://www.town.takahama.fukui.jp/page/sougouseisaku/hurusatonouzei/p006842.html>

今後も、地域金融機関として地元自治体と協力し、さらなる地域経済の活性化に貢献してまいります。

【包括的地域連携協定の概要】

締結先	福井県高浜町
締結日	2017年1月23日
目的	地域の発展のため、相互の人的・知的資源の活用を図り、協働して事業を展開することにより、「まち・ひと・しごと」の創生に向けた取り組みを、戦略的に推し進めていく。
連携事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域産業の振興と雇用の維持拡大 (2) 包括的創業支援による地域経済の活性化 (3) まちづくりと定住化の推進 (4) 子育て支援と青少年健全育成 (5) 地域産品・地元企業製造品の販路拡大に関するビジネスマッチング (6) 観光客誘致の推進 (7) その他、目的を達成するために必要な事項

「福井県高浜町が企業版ふるさと納税で募集している事業」

福井県高浜町

100年後の未来を創る実証実験の地域としてチャレンジ!!!
地域に関心をお持ちの企業の皆様、ぜひご支援・ご協力お願いいたします。

未来にはばたけ。子育て環境日本一

親子をくむ しあわせ子育て応援プロジェクト

0歳から18歳までの子育て・教育環境の日本一を目指す横断的なプロジェクトです。「地域でぐるむ子育て支援 kurumu事業」をはじめ、「奨学金返還サポート制度」「給食費無償化」「教材費無償化」「ALT配置など英語力の向上支援」「0歳～高校卒業まで医療費全額助成」「子どもの遊び場・公園づくり」など、様々な事業にチャレンジしています。これら制度や事業を持続可能な仕組みとするために、皆様のご支援をお願いいたします。

地域医療・健康のまちづくり

多様な業種でつなぐ 専任・専任促進プロジェクト

地域での医師不足・医療体制の崩壊が危惧された2008年。5名まで減った医師を、福井大学医学部と連携した全国初の市町村単独医学部寄附講座（地域プライマリアケア講座）を、医学教育+地域=健康のまちづくりを地域一体となって推進し、常勤医師13名まで奇跡の回復を見せました。この健康のまちづくり事業をさらに発展し、安心して暮らせる地域にしていきたいため、皆様のご支援をお願いいたします。

ソーシャル・グッド (SDGs) 育成

まちががやく 人と仕事の好循環プロジェクト

2016年、アジアで初めてピーチの国際環境認証ブルーフラッグを取得し、持続可能なまちづくりがスタートしました。現在、スマートタウンの創出、グリーンスローモビリティ(二次交通)実証実験、JR小浜線(ローカル線)を残す運動、おいしい循環(菓草の産地化、魚食・海の6次産業化など)、ワーケーションやサテライトオフィス誘致、そして地域・社会課題を解決するソーシャル・グッド人材およびウェルビーイング人材の育成など、地域を元気にする共創事業「ソーシャル・グッド・プロジェクト(SDGs)」にチャレンジしています。ぜひ、皆様のご支援をお願いいたします。



【連絡先】 高浜町役場 総合政策課 電話番号:0770-72-7711
メールアドレス:seisaku@town.takahama.fukui.jp

応援してやっ

未来にはばたけ。子育て環境日本一

親子をくむ しあわせ子育て応援プロジェクト

高浜町では、0歳から18歳までの子育て・教育環境の日本一を目指す横断的なプロジェクトに取り組んでいます。「地域でぐるむ子育て支援 kurumu事業」をはじめ、「奨学金返還サポート制度」「給食費無償化」「教材費無償化」「ALT配置など英語力の向上支援」「0歳～高校卒業まで医療費全額助成」「子どもの遊び場・公園づくり」など、様々な事業にチャレンジしています。これら制度や事業を持続可能な仕組みとするために、皆様のご支援をお願いいたします。

11 病児デイケア事業

●病児の治療中または回復期で、家庭での保育が困難な児童を一時的にお預かりします。
●対象者：高浜町内在住の1歳～小学校低学年 ●利用日：平日8:00～18:00
●利用料：1日2,000円、半日1,000円 ●場所：若狭高浜病院附属病児・療養病児無償ケアセンター(高浜町高浜2丁目2番地) ●予約：電話予約

12 保育料の無償化・減免

●高浜町内在住の就学児童の保育料を無償または減免し、保護者負担を軽減します。
●対象者：高浜町内在住の就学児童の保護者 ●内容：①3歳から保育園等の保育料を無償化(全額) ②3歳未満の2歳の保育料を半額(半額負担) ③3歳以上児童の保育料を無償化(1歳) ④2歳の保育料を無償化(所得制限あり) ⑤3歳から5歳の助成費を無償化(上限月4,500円) [同負担]

13 子育て手当

●育児の一助としてもらうための手当を支給します。(令和6年3月分まで)
●対象者：高浜町内在住の3歳以上の児童を有する月までの間にいる児童の保護者 ●内容：対象児童1人につき月額5,000円

6 子ども医療費助成

●高浜町内在住の0歳から高校卒業までの子どもに医療費を助成します。
●対象者：高浜町内在住の18歳(18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある方) ●内容：医療費助成(医療費)や健康診断等の自己負担分の全額を助成

8 入学・新生活スタート応援給付金

●小学校・中学校の入学時や中学校の卒業時など、新生活に必要な費用の一部を給付します。
●対象者：小中学校等に入学予定している児童の保護者、中学校等を卒業する学生の保護者 ●内容：①小学校入学時2万円 ②中学校入学時3万円 ③中学校卒業時5万円

9 教材費の無償化

●高浜町内在住の小中学生の教材費を無償とします。
●対象者：高浜町内在住の小中学生の保護者 ●内容：健康・家庭・保健・学習用具などの教科書、ドリルやワークなどの教材費を無償化

10 就学支援制度

●経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費や修学旅行費等を助成します。
●対象者：児童扶養手当を受けている方(児童手当、特別児童扶養手当除く)等、経済的に困っている方(条件があります。ご相談ください。)
●内容：学用品費、修学旅行費用等、小中学校で必要な費用の一部

5 放課後児童クラブ

●学校終了後、保護者が就労等で保育できないご家庭の児童を預かり、遊びや生活の場を提供します。
●対象者：学校終了後、帰宅して保護者が保育できないご家庭の小中学生の児童 ●内容：開館時間：平日～土曜 16:30～18:30、長期休業日等 13:00～18:30(日曜、祝日、年末年始は休み) ●利用料：月額6,000円(ただし1日1回のみ利用料4,000円)8月のみ8,000円(ただし10日以内の利用は5,000円)

7 給食費の無償化

●高浜町内在住の小中学生の給食費を無償とします。
●対象者：高浜町内在住の小中学生の保護者 ●内容：給食費を無償とします(月額約4,000円～4,500円)

3 中学生通学費助成

●通学距離の長い中学生に、通学に必要な経費の一部を助成することにより、保護者の負担を軽減します。
●対象者：(1)自転車、自動車または路線バスにより通学する中学生の保護者 ●内容：(1)自転車：路線バス：定期乗車料の全額(自転車：15,000円(入学金別除))

4 英語検定受験料補助

●中学生の外部英語検定試験の受験料を補助します。
●対象者：高浜町内の中学校に在籍している中学1～3年生 ●内容：外部英語検定試験(ETC(ジーン・タク・スピーキングを含む)4技能の測定でする試験)の受験料を補助 ●ETCコース：2022年度は受験率が9%(約30名)上昇しました。

GOOD DESIGN AWARD 2019年度受賞

●「Kurumu子育てサイクル」が、体幹、子育て、学びサービスなどが融合した「Kurumu子育てサイクル」が、厚生労働省アワード受賞

奨学金返還サポート制度

●大学等に進学する際に対象の奨学金を利用した方が、卒業後、高浜町内に定住する意思を持ち居住した場合、奨学金の返還をサポートします。
●対象者：大学や高等専門学校等に進学する際に、日本学生支援機構等の奨学金を利用した方で、卒業後に高浜町に移住定住した方(その他条件があります。お問合せください。)
●申請：①大学卒業後(奨学金返還の金額(最大20万円) ②高校卒業後(返還金額は奨学金の全額(最大100万円) ③未定学費のお子様がいらっしゃる場合は、上記に+10万円
●制度利用実績：2022年度は16件の利用がありました。

高等学校等通学費助成

●高等学校等に入学する際の通学費の一部を助成することにより、保護者の負担を軽減します。
●対象者：(1)自転車、スクールバス等により高等学校等に入学する生徒の保護者 ●内容：(1)自転車：定期乗車料の8割の補助(スクールバス：利用料金8割の補助(1日1回) 月額3,000円(ただし1回の補助額は最大6ヶ月分)



【連絡先】 高浜町総合政策課 担当:野村 電話:0770-72-7711 メール:seisaku@town.takahama.fukui.jp

応援してやっ

地域医療・健康のまちづくり

多様な関わりでつなぐ 移住・帰住促進プロジェクト

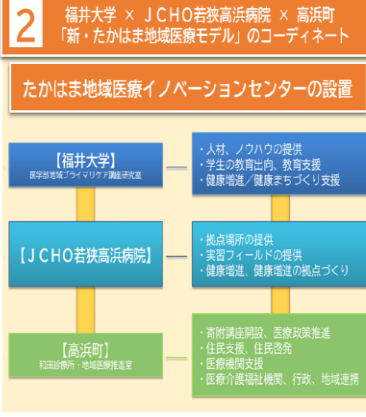


地域での医師不足・医療体制の崩壊が危惧されたH20年。5名まで減った医師を、**福井大学医学部と連携した全国初の市町村単独医学部寄附講座（地域プライマリケア講座）**を、**医学教育+地域=健康のまちづくり**を地域一体となって推進し、常勤医師13名まで奇跡の回復を見せました。この健康のまちづくり事業をさらに発展し（第5期福井大学医学部地域プライマリケア講座）、安心して暮らせる地域にしていいため、皆様のご支援をお願いいたします。



< 第5期 福井大学医学部地域プライマリケア講座【寄付講座】 >

- POINT 1** **【地域医療教育】のイノベーション**
～やまい・ひと・まちを診る「新・総合診療医」の育成～
- 「病院総合診療」×「診療所総合診療」×「地域社会」を学べる実習体制の構築
 - 新・総合診療医（上記の学びを体得した人材）の育成
- POINT 2** **【地域医療連携】のイノベーション**
～有機的・一体的な連携のケアシステムの構築～
- JCHO若狭高浜病院と和田診療所のシームレスな人材活用
 - 地域医療・包括的なケアの更なる推進
- POINT 3** **【地域健康増進】のイノベーション**
～健康のまちづくりは「地域主体」から「地域総出」へ～
- 健康づくり（健康増進・予防活動）/健康まちづくり事業の拠点化



- 町内常勤医師数 H20年度:5名 ⇒ R元年度:13名
- 町内研修者数 H16年度:1名 ⇒ R元年度:123名
- たかはま地域医療サポーターの会(H21～)
- 健康のまちづくりに関する、地域ぐるみの住民啓発活動を展開
- 協働創出WS「コラボラボ」(H26～)
- 住民-医療-介護-行政の協働ワークショップ(全国33か所開催)
- けっこう健康!高浜わいわいカフェ【健康カフェ】(H27～)
- 毎月第3火曜日(計50回、延べ約1,000名が参加)
- 暮らし健康マスター養成塾(H28～)
- 暮らし健康マスターとして認定/認定者数:54名
- 健康のまちづくりアカデミー(H28～)
- 健康のまちづくりプロバイダーとして認定(認定者数:44名)
- 健康のまちづくり友好都市連盟(H28～)
- 全国31市町村加盟、サミット計4回開催



【福井大学・たかはま地域医療サポーターの会・高浜町】
 ☆2018年:第6回プラチナ大賞 全員参加の地域づくり賞 受賞
 【たかはま地域医療サポーターの会】
 ☆2019年:世界最大のちらし寿し Guinness World Records®(375.1kg) 認定
 ☆高浜町長表彰(德行卓越) 受賞
 ☆2020年:第1回上手な医療のかかり方アワード 厚生労働省井局長賞民間団体部門 優秀賞 受賞

【連絡先】 高浜町総合政策課 担当:野村 電話:0770-72-7711 メール:seisaku@town.takahama.fukui.jp



ソーシャル・グッド (SDGs) 育成

まちががやく 人と仕事的好循環プロジェクト



2016年、アジアで初めてビーチの国際環境認証ブルーフラッグを取得し、持続可能なまちづくりがスタートしました。現在、スマートタウンの創出、グリーンローモビリティ(二次交通)実証実験、JR小浜線(ローカル線)を残す運動、おいしい循環(菓子の産地化、魚食・海の6次産業化など)、ワーケーションやサテライトオフィス誘致、そして地域・社会課題を解決するソーシャル・グッド人材およびウェルビーイング人材の育成など、地域を元気にする共創事業「ソーシャル・グッド・プロジェクト(SDGs)」にチャレンジしています。ぜひ、皆様のご支援をお願いいたします。



高浜町からソーシャル・グッド (SDGs) プロジェクトを生んでいく!!!



【連絡先】 高浜町総合政策課 担当:野村 電話:0770-72-7711 メール:seisaku@town.takahama.fukui.jp



以上